

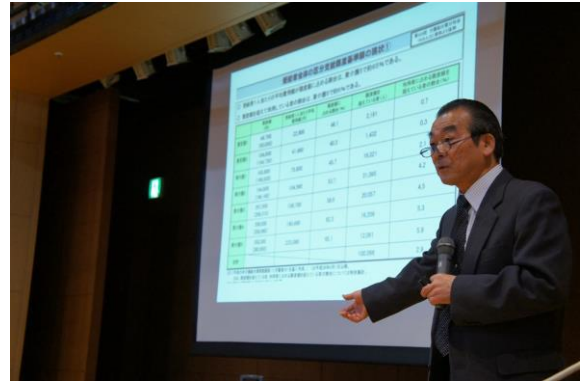
多方面から多くの参加者が集まり開催 地域包括ケアシステム構築支援セミナー

春寒の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。1月26日に全国地域医業研究会（地域包括会計事務所サポートセンター）主催のセミナーが開催されました。「地域包括ケアシステム構築支援セミナー」として、社会保障制度と地域包括ケアシステムの方向性について解説するセミナーです。当日の参加者は70名を超え、当会会員はもちろんの事、医療機関や介護事業所の方、地域包括支援センターの方等、あらゆる分野の方々が出席し、多方面からも注目の高いセミナーというのを感じられました。当日は当会のセミナーが初めてという方も多く参加されていることもあり、大塚代表より今回のセミナー開催の経緯や会の紹介などを行い、続いて、會田顧問が「総選挙後の医療・介護の基本的方向について」～政局に関わらず粛々と進む社会保障改革プログラム法～というテーマで講演を行いました。

大塚代表



會田顧問



主な内容は 1. 社会保障改革プログラム法の進捗状況と2015年度成立を目指すもの 2. 消費増税見送りによる厳しい財源確保と2015年度「介護報酬改定」のポイント 3. 医療介護総合確保法による、地域包括ケアシステムの2つの段階 4. 医療提供体制における「垂直的統合」とは 5. 介護提供体制における「水平的統合」とは 6. 生活支援の新たなマーケットについて 7. エイジング・イン・プレイス（地域居住）と地域包括会計事務所について という7つの柱を中心に今後の医療・介護提供体制について解説を行いました。最後には地域包括会計事務所サポートセンター長の押田吉真先生よりサポートセンターの紹介等が行われ、約3時間弱の短いセミナーでしたが、大変充実した内容にて開催することが出来ました。

押田サポートセンター長



多くの参加者となった会場



今回は参加者へのアンケートも実施し、今回の受講したきっかけやセミナーの感想や地域包括ケアシステムに関する意見など参加者からの貴重な情報も得ることができました。今回のアンケートを活かして今後もこのようなセミナーを開催していきたいと思っております。